

第1期中期目標期間業務実績報告書

(平成24年4月1日～平成28年3月31日)

平成28年6月

地方独立行政法人府中市病院機構

府中市病院機構の概要

1 病院機構の概要

(1) 目標

地方独立行政法人府中市病院機構（以下「法人」という。）は、良質で安全な医療を提供するとともに、地域の医療機関及び府中市と連携して、住民の健康の維持及び増進に寄与することを目的に、平成24年4月1日に設立された。この目的を達成するため、法人は、市の地域医療を守り育てる基本条例の理念である、市民の健康と生命を守るかけがえのない地域医療を、将来にわたって持続的に確保することを病院運営の基本に置き、府中市地域医療再生計画の具体化を目指します。

法人が目指す医療は、市民が安心して暮らすための健康を維持し、市民の生活の質を高めるための「支える医療」であり、保健・医療・福祉の連携ネットワークづくりや、医療と介護の日常的な連携体制の構築を図ります。

(2) 業務（定款第19条）

- ① 医療を提供すること。
- ② 医療に関する調査及び研究を行うこと。
- ③ 医療に従事する者に対する研修を行うこと。
- ④ 人間ドック、健康診断等の予防医療を提供すること。
- ⑤ 災害時における医療救護を行うこと。
- ⑥ 前各号に掲げる業務に附帯する業務を行うこと。

(3) 資本金の状況

設立時：14,466,680円

増資：401,413,000円（平成28年2月1日 府中市民病院に係る土地現物出資）

計：415,879,680円（全額 府中市出資）

(4) 役員の状況

役 職	名 前	任 期	備 考
理事長	多田 敦彦	H24.4.1～H28.3.31	府中市民病院 院長
理 事	横 矢 仁	H24.4.1～H26.3.31	府中北市民病院 院長（H26.3.31 退職）
理 事	北村 智樹	H24.4.1～H28.3.31	府中市民病院 副院長

理事	近森 正和	H24. 4. 1～H27. 10. 31	府中市民病院 副院長 (H27. 10. 31 退職)
理事	長谷川 和子	H24. 4. 1～H28. 3. 31	府中市民病院 総看護師長
理事	寺岡 謙	H24. 4. 1～H28. 3. 31	社会医療法人社団陽正会事業本部長
監事	浅田 勝彦	H24. 4. 1～H28. 3. 31	公認会計士・税理士
監事	岸田 光弘	H24. 4. 1～H28. 3. 31	弁護士

(5) 職員の状況 (各年度 4 月 1 日現在) ※臨時職員は除く。

(単位：人)

職 種		平成 2 4 年度	平成 2 5 年度	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度	備 考
医師	府中市民	1 1	1 1	1 0	1 0	非常勤医師は除く。
	府中北市民	4	3	5	3	
看護師	府中市民	1 0 4	1 0 2	1 0 8	1 1 0	
	府中北市民	3 5	3 3	3 2	3 1	
准看護師	府中市民	4	6	6	5	
	府中北市民	3	4	6	6	
介護福祉士	府中市民	5	6	6	6	
	府中北市民	8	8	8	8	
薬剤師	府中市民	3	2	4	4	
	府中北市民	2	2	1	2	
技師	府中市民	2 5	2 5	2 6	2 7	診療放射線技師・臨床検査技師・管理栄養士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士
	府中北市民	1 3	1 3	1 2	1 3	
事務	府中市民	1 3	1 1	1 2	1 5	
	府中北市民	7	6	6	5	
計	府中市民	1 6 5	1 6 3	1 7 2	1 7 7	
	府中北市民	7 2	6 9	7 0	6 8	
	法人計	2 3 7	2 3 2	2 4 2	2 4 5	

(6) 決算の状況

(単位：円，%)

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
収益	営業収益	3,462,566,662	3,493,760,892	3,415,530,757	3,453,351,493
	営業外収益	38,352,557	35,733,721	34,036,896	34,869,531
	臨時利益	196,000	26,930	169,545	40,000
費用	営業費用	3,420,058,177	3,600,683,840	3,500,635,265	3,549,155,441
	営業外費用	37,567,614	35,618,167	33,626,027	31,973,486
	臨時損失	0	0	22,198,109	0
当期純利益		43,489,428	▲106,780,464	▲106,722,203	▲92,867,903
市からの財政支援		490,000,000	440,000,000	420,000,000	450,000,000
経常収支比率		101.3	97.1	97.6	97.4

(7) 病院の状況

病 院 名	府中市民病院	府中北市民病院
主な役割・機能	<u>二次救急輪番制病院</u> <u>へき地医療拠点病院</u> ・日本静脈経腸栄養学会認定 NST 稼働施設 ・日本呼吸器学会関連施設 ・日本透析医学会教育関連施設 ・日本アレルギー学会準教育施設 ・日本大腸肛門病学会認定施設 <u>訪問看護ステーションあゆみ</u>	<u>救急告示病院</u> ・広島大学病院協力型臨床研修病院 ・日本消化器病学会関連施設 ・日本整形外科学会専門医研修施設 <u>訪問看護ステーション</u>
所在地	府中市鶉飼町 555 番地 3	府中市上下町上下 2101 番地
設 立	平成 24 年 4 月 1 日	平成 24 年 4 月 1 日
病 床 数	150 床 (一般 100 床・療養 50 床)	60 床 (一般 60 床)

	H24.4.1 150床（一般2病棟100床・療養1病棟50床）	H24.4.1 70床（一般1病棟35床・療養1病棟35床） H26.7.1 60床（一般1病棟60床）
診療科目	内科・外科・整形外科・婦人科・耳鼻咽喉科・小児科・泌尿器科・眼科・精神科	内科・外科・整形外科・婦人科・小児科・耳鼻咽喉科・皮膚科・泌尿器科・リハビリテーション科

2 全体的な状況

第1期中期目標期間の目標は、地方独立行政法人として自立した経営基盤を確立し、中期目標期間の最終年度には、経常収支比率100パーセント以上を達成すること。また、2病院の診療圏域における役割を明確にし、それぞれの地域に必要な医療が提供できるよう、次期中期計画の策定に繋がる経営改善に取り組むことにありました。

第1期中期計画期間（平成24～27年度）では、2病院の病院事業の継続性、確実性を図るため、府中市民病院では平成26年度までの3年間で一部事務職員を除き、JA広島厚生連からの職員転籍を完了し、法人採用の職員体制を確立したことで、両病院間の効果的な人事配置が可能になりました。また、府中市民病院の新病院建築工事も予定通り完了し、平成28年2月から新病院での業務を開始しています。将来にわたって地域医療を持続するために必要な、人材確保や施設設備の基盤整備ができました。

しかしながら、法人全体の経営成績では、中期目標期間の最終年度も赤字決算となり、経常収支比率100パーセント以上を達成することはできませんでした。

中期目標期間の初年度と最終年度比較では、府中市民病院は、入院収益142,360千円増、外来収益47,234千円増、府中北市民病院は、入院収益75,009千円減、外来収益60,211千円減となりました。病床については、府中市民病院は、一般病床100床は変更なし、療養病床50床（医療38床、介護12床）は介護12床を廃止（H27.11.1）医療50床に変更しました。府中北市民病院は、2病棟（一般35床、療養35床）の1病棟（療養35床）を廃止し、1病棟（一般60床）に変更（H26.7.1）しました。また、訪問看護ステーションの開設（H26.10.1）と、上下地域で初のサービスとなる24時間定期巡回・随時対応型の「訪問介護看護事業ささえ」の開設準備を進めました。（H28.4.1開設）第2期中期計画では、病院運営を取り巻く情勢を的確に見据えた両病院の将来像を確立し、府中地域全体としての地域包括ケア体制構築に努め、また、法人の管理運営体制を強化し、経営基盤の強化を図るための組織改革に取り組む必要があります。

3 大項目ごとの特記事項

（第1）住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

府中市民病院は、広島県地域医療再生計画に掲げられた病院の建て替えに着手し、平成 27 年 12 月末に病棟工事が完了、平成 28 年 2 月 1 日に地域住民を支える医療を推進するための施設・設備を備えた、新病院へ移転しました。旧病棟の解体、駐車場や外構工事など全ての工事が H28 年 10 月末に完了し、11 月にグランドオープンを予定しています。新病院では、電子カルテの新規導入により、ICT による医療連携（HM ネット）への参加が可能となり、地域の病院、診療所との連携をさらに推進します。予防医療では、初年度から積極的に健診拡大に取り組み、4 年間で大きく実績を伸ばし、現在では、医師の検査体制の限界まで到達しています。支える医療の一つとして、府中市内の準無医地区への巡回診療を開始するため、平成 27 年 4 月 1 日、広島県からへき地医療拠点病院の指定を受け、広島県北部地区移動診療車を毎月 2 回運行し、2 地区（協和地区、久佐地区）での診療を開始しました。法人設立による 2 病院の経営統合の成果として、平成 27 年 4 月 1 日、常勤医師が 1 名減となる府中北市民病院の診療機能を維持するため、府中市民病院から府中北市民病院へ内科常勤医師 1 人を異動し、常勤医師 3 人体制を継続しました。

府中北市民病院は、平成 26 年度の病棟再編に伴い訪問看護師 1 名を増員し、在宅医療を推進するため訪問看護ステーションを設置しました。平成 27 年度は、上下地域で初のサービスとなる訪問看護と訪問介護を一体的に提供する新規事業所、訪問介護看護事業所「ささえ」の開設準備を行い、内部異動による職員配置や事業に必要な機器等を整備し、平成 28 年 4 月 1 日、事業所を開設しました。

(第1) 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置		事業年度評価結果				第1期中期目標期間の評価
		H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	
中期目標	中期計画	A	A	A	●	●
1 提供する医療の内容 (1) 高齢化に対応した医療	地域の実情に即し、地域住民の高齢化に対応した在宅医療を適切に取り入れ、高齢者に多い慢性期の患者に寄り添い、地域住民の社会生活を「支える医療」に重心を置いた医療を提供します。	<p>【平成 24】訪問診療、訪問看護・訪問リハビリを充実するため、訪問看護師を 1 名増員した。(府中北) 外来患者と家族を対象に、糖尿病教室を再スタートさせた。(府中)</p> <p>【平成 25】府中地区医師会の「在宅医療推進拠点整備事業」に参加し、5ヶ所の地域拠点(サブセンター)として訪問看護ステーションあゆみが位置づいた。(府中) 地域医療連携室に経験豊富な職員(社会福祉士)を 1 人採用、地域連携機能を充実した。(府中北)</p> <p>【平成 26】府中市民病院のへき地医療拠点病院指定と、準無医地区への巡回資料開始に向けて、関係機関との調整を行った。(法人) 看護師を 1 人増員し、訪問看護ステーションを開設した。(府中北)</p> <p>【平成 27】平成 27 年 4 月 1 日、広島県のへき地医療拠点病院に指定される。同年 6 月から、広島県北部地域移動診療を運行し、準無医地区の久佐・協和両地区での巡回診療を実施した。(府中) 24 時間定</p>				

(2) 予防医療

「支える医療」の一つとして、市の保健事業とも連携し、人間ドックや健康診査をはじめとした、病気を予防し健康の維持・増進を図るための予防医療の提供に努めます。

期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所「府中北市民病院訪問介護看護事業所ささえ」の平成 28 年 4 月 1 日の開設に向けて、人員配置や通信機器等の整備を行った。（府中北）

【平成 24～27】市民病院として、人間ドック・特定健診・がん検診を積極的に実施した。（法人）

【平成 25】放射線科に女性の技師を採用し、マンモグラフィー検診を受検する女性に配慮した（府中）

【平成 26】上下地域の健診機能を維持するため、マンモグラフィーを更新した。（府中北）

	健診種別	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	24→27 年度
府中市民病院	人間ドック	207	309	307	319	112
	協会健保等	133	500	640	681	548
	特定健診	127	156	301	256	129
	がん検診	969	964	1,248	1,364	395
府中北市民病院	人間ドック	89	85	96	81	▲8
	特定健診	200	201	250	277	77
	がん検診	574	505	546	611	37

(3) 救急医療への対応

地域の医療機関と連携・補完しながら、急性期患者への速やかな対応を行います。そのため、救急医療に要する経費に対する市からの政策的医療負担金を有効に活用し、病院の体制を整えま

【平成 24～27】府中市民病院は二次救急輪番制病院として外科の 24 時間 365 日の緊急手術に対応する職員体制を継続し、府中北市民病院は救急告示病院として、府中地区の急性期患者に対応している。また、府中地区医師会の休日当番医制では、府中市民病院は、診療所と協力し当番医の減少を補完し、府中北市民病院は、年間を通じて上下地域の当番医を担当しました。

緊急手術件数

H24 年度 28 件・H25 年度 41 件・H26 年度 57 件・H27 年度 32 件

<p>(4) 災害医療への協力</p>	<p>す。</p> <p>災害発生時や感染症の流行時には、行政からの要請に基づき必要な医療を提供します。また、市が行う防災訓練等にも積極的に協力します。</p>	<p>法人2病院の連携による府中北市民病院からの紹介患者の外科手術件数 H24年度17件・H25年度23件・H26年度27件・H27年度22件</p> <p>【平成24～27】災害発生時など、行政からの要請はありませんでした。</p> <p>【平成24】府中市の総合防災訓練に、常勤医師（1名）看護師（2名）が参加し、被災患者のトリアージ訓練を行いました。（府中）</p> <p>【平成25～27】府中市民病院ICLSコース研修会（患者救命率向上のための実技研修）は、毎年度、継続して実施しています。（府中）</p> <p>【平成26】新病院の設計にあたり、1階のセミナー室、ホワイエを災害時の受け入れ場所とし。酸素配管、吸引配管を整備しました。（府中）</p>
<p>2 診療機能の確保</p> <p>(1) 診療科目の整備</p>	<p>府中市民病院及び府中北市民病院の診療圏域において、地域の病院、診療所などと適切な役割分担を行い、地域全体で、安定的で切れ目のない診療機能を確保し、地域にとって最も効果的な診療科目の整備に努めます。</p>	<p>【平成24】府中市民病院と寺岡記念病院の理事長・院長・副院長・事務長による会合を開催し、情報交換を行う。福山市新市町で開業する泌尿器科医（ときながクリニック、岡山大学泌尿器科）が、府中市民病院で診療（週1回）を開始することが決定した。（府中）</p> <p>【平成25】H26.4月から月2回（第2.4金曜日）、福山市民病院から循環器内科の診療支援を開始することが決定した。</p> <p>【平成26】地域医療病院コンソーシアム府中を構成する社会医療法人社団陽正会と法人の連携会議を、毎月の定例会議とした。</p> <p>多田院長の呼吸器専門外来（月1回）に加え、5月から府中市民病院の内科（呼吸器）常勤医師が、毎週金曜日に外来診療を開始した。（府中北）</p> <p>【平成27】府中市民病院から府中北市民病院へ内科常勤医師を1人異動、常勤医師3人体制を維持した。府中市民病院では、毎週2日広島大学病院から内視鏡検査（上部・下部）のため、専門医の診療支援が開始された。</p>
<p>(2) 小児救急医療及び分娩の</p>	<p>小児救急医療及び分娩の再開に</p>	<p>【平成25～27】法人運営の2病院とも、地域に必要な産婦人科として、婦人科全般の診断と治療、子宮</p>

再開

については、府中地域だけでなく広域的な連携体制が必要であり、その連携体制の中で2病院が果たすべき役割を検討します。

がん検診を行う。現状では、分娩の再開は条件整備のハードルが高く、広域的な連携体制の中で、妊娠32週までの妊婦検診に対応している。

府中市民病院	24年度	25年度	26年度	27年度
外来患者数	2,597	2,371	2,478	2,371
子宮がん検診	431	288	430	451
府中北市民病院	24年度	25年度	26年度	27年度
外来患者数	603	564	592	529
子宮がん検診	64	85	89	93

3 地域医療連携の推進

(1) 地域医療連携室の充実と「在宅支援システム」の試行

地域の診療所や訪問看護ステーションと連携し、将来的な地域見守り体制の構築を視野に入れ、高齢者が住み慣れた自宅で、できるだけ長く生活できるよう、市の「在宅支援システム」構想の実現にむけて、病院の地域医療連携室が中心的な役割を果たします。

在宅支援システムとは、平成19年度の「広島県地域ケア体制整備構想」において府中市が策定したモデルプランで、在宅医療の提供と、高齢者と介護者を一緒に見守る公的なサービスを提供するも

【平成24】市の第1回地域医療シンポジウムで、多田理事長が「府中市病院機構の使命」と題して、医療と介護の連携について発表した。「在宅支援システム」のツールとなるICT利用について、市と法人の職員が、長崎「あじさいネット」を視察し、府中地区医師会の理事会で報告しました。

【平成25】府中地区医師会の「在宅医療推進拠点整備事業」に参加し、在宅医療拠点となる5つのサブセンターのうちの一つを、府中市民病院の訪問看護ステーションが担っています。

【平成27】平成28年2月から業務を開始した新病院に、医療（地域医療連携室、訪問看護ステーション）と介護（市の包括支援センター）の総合的相談窓口を、住民が利用しやすい1階に設けました。

（府中）24時間定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業「府中北市民病院訪問介護看護事業所ささえ」の開設準備を進めました。平成28年4月1日、事業所を開設します。（府中北）

電子カルテ導入による医療連携の推進のため、広島県のHMネットへの参加環境を整備しました。（府中）

	<p>短縮等、利便性の向上に努めます。</p> <p>また、患者や来院者に、より快適な院内環境を提供するため、適切な施設管理や保全を図るとともに、患者のプライバシー保護に配慮した施設改良に努めます。</p>	<p>望や院内環境を把握しています。（府中）</p> <p>1階ロビーを開放し、地域住民への院内ミニコンサートを開催しています。</p> <p>【平成27】新病院のレストランは、学ぶ（生活習慣病予防の食事と啓発）集う（高齢者や一人世帯への支援）拡がる（地域交流の場所）として、2月1日から営業を開始しました。（府中）</p>
(2) 医療安全対策の徹底	<p>院内感染防止策を確実に実施するとともに、医療事故などに関する情報の収集・分析に努め、医療安全対策を徹底します。</p>	<p>【平成24～27】毎月、院内感染対策委員会を開催し、感染症情報を院内全体で共有、また定期的に研修会を開催しています。</p> <p>毎月、医療安全対策委員会を開催し、院内全体でインシデント・アクシデント報告の内容と、その対応策及び再発防止策を確認しました。また、医療安全情報、医薬品情報、医療機器等の医療安全情報を共有、定期的に研修会を開催しています。</p>
(3) 市民への積極的な情報提供	<p>病院運営に関して、地域住民の理解が得られるよう病院のホームページや広報紙等により積極的な情報発信を行い、地域住民や患者に愛され、支えられ、そして選ばれる病院づくりに努めます。</p>	<p>【平成24～27】毎年、市の健康&福祉まつりに参加し、2病院の看護師による健康相談を実施しています。また、看護の日のイベントとして、病院内と市内のスーパー前で健康相談の実施、地元の夏祭りなどイベントへの出店、地域住民対象の講演会へ職員を講師として派遣しています。</p> <p>市の広報へ、病院の紹介記事をシリーズで掲載。新病院の業務開始に合わせ、広報誌をリニューアルし、法人広報誌「ささえ」を発行しました。</p> <p>広報誌の発刊数</p> <p>【法人】H24年度2回・H25年度1回・H26年度0回・H27年度1回</p>

(第2) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

JA 広島厚生連府中総合病院の病院事業を引き継いだ府中市民病院は、病院事業の継続性、確実性を確保するため、平成 24 年度から平成 26 年度の 3 年間で人独自職員への移行が完了させ、法人としての職員体制を確立しました。そのことにより、両病院の限られた人材を効果的に配置し、効率的な組織体制が可能となりました。平成 27 年度では 2 病院間の人事交流を開始し、府中市民病院の療養病棟の病床変更を図るため、府中北市民病院の看護師 1 人、介護福祉士 2 人を、府中市民病院へ異動しました。また、府中北市民病院の新規事業、「府中北市民病院訪問介護看護事業所ささえ」の開設準備のため、介護福祉士 5 人の院内部署異動を行いました。事務職については、市からの派遣職員は、各業務の中心的な事務を担っているため、中期目標期間の 4 年間で全ての職員を法人採用職員に移行することはできませんでしたが、今後も、法人として計画的な採用・育成に取り組めます。

働きやすい職場環境の整備では、新病院の 2 階に院内託児所「おひさま」を移転し、平成 28 年度からは病児保育も実施されます。

(第 2) 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置		事業年度評価結果				第 1 期中期目標期間の評価
		H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	
中期目標	中期計画	A	B	A	●	●
1 組織・機構の整備	<p>病院事業の継続性、確実性を確保し、併せて病院自身の経営企画機能を強化するとともに、職員の業務遂行力の向上を図るため、限られた人材などを適切なバランスで配置し、効果的・効率的な組織体制を実現します。</p> <p>また、すべての職員が病院の経営状況や課題を共有するなど、自主的に運営を行う組織風土を醸成し、もって業務の改善及び効率化を図ります。</p>	<p>【平成 24～27】理事会を毎月定例で開催し、収益の目標達成状況を報告しました。府中市民病院では、院長、副院長（2 名）、総看護師長、事務長による経営戦略会議を立ち上げ、毎週定例で開催しました。2 病院とも、毎月の定例院内会議（幹部会）で、経営状況や事業実績の共有化を図りました。</p> <p>【平成 24～25】各部署の積極的な取り組みを発表する「元気になる KAIZEN 発表会」を開催しました。（府中）</p> <p>【平成 26】府中市民病院へ JA 広島厚生連からの人的支援期間の 3 年間で終了し、法人独自職員への移行が完了しました。一部の事務職員については、引き続き、市からの派遣を受けています。</p> <p>【平成 27】法人として 2 病院間の人事交流を開始し、府中市民病院の療養病棟の病床変更を図るため、府中北市民病院の看護師 1 人、介護福祉士 2 人を、府中市民病院へ異動しました。</p> <p>経営戦略室に専任職員を 1 人配置し、経営戦略機能を強化しました。（府中）府中北市民病院の新規事業、「府中北市民病院訪問介護看護事業所ささえ」の開設準備のため、介護福祉士 5 人の院内部署異動を行いました。（府中北）</p>				

<p>2 職員教育体制の充実</p>	<p>全職員への教育、キャリアアップを支援し、その効果が各職員や組織内に定着し、生かされる仕組みを整備します。</p>	<p>【平成 24～27】全職員の学会、研修会、発表会等への参加を支援しました。</p> <table border="1" data-bbox="943 236 1720 630"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="4">府中市民病院</th> <th colspan="4">府中北市民病院</th> </tr> <tr> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>21</td> <td>23</td> <td>23</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>95</td> <td>106</td> <td>102</td> <td>97</td> <td>57</td> <td>38</td> <td>45</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>医療技術</td> <td>92</td> <td>83</td> <td>90</td> <td>124</td> <td>20</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>15</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>36</td> <td>17</td> <td>34</td> <td>35</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>合計(延人数)</td> <td>223</td> <td>240</td> <td>244</td> <td>272</td> <td>104</td> <td>91</td> <td>96</td> <td>116</td> </tr> </tbody> </table>	区分	府中市民病院				府中北市民病院				H24	H25	H26	H27	H24	H25	H26	H27	医師	21	23	23	15	10	10	8	2	看護師	95	106	102	97	57	38	45	46	医療技術	92	83	90	124	20	9	8	18	事務	15	28	29	36	17	34	35	50	合計(延人数)	223	240	244	272	104	91	96	116
区分	府中市民病院				府中北市民病院																																																											
	H24	H25	H26	H27	H24	H25	H26	H27																																																								
医師	21	23	23	15	10	10	8	2																																																								
看護師	95	106	102	97	57	38	45	46																																																								
医療技術	92	83	90	124	20	9	8	18																																																								
事務	15	28	29	36	17	34	35	50																																																								
合計(延人数)	223	240	244	272	104	91	96	116																																																								
<p>3 事務職員の育成</p>	<p>医療保険制度や診療報酬制度など病院特有の医事、経理及び財務などに精通する事務職員を育成します。</p>	<p>【平成 24～27】事務職員については、法人採用の病院職員へ移行中ですが、現在、市からの派遣職員は、各業務の中心的な事務を担っています。今後は、法人として特に計画的な採用・育成が必要になります。</p> <p>事務職員の内訳（総務・人事・医事）</p> <table border="1" data-bbox="943 869 1648 1308"> <thead> <tr> <th colspan="2">職員区分</th> <th>H 24.4</th> <th>H 25.4</th> <th>H 26.4</th> <th>H 27.4</th> <th>H 28.4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">市府 民中 病 院</td> <td>法人</td> <td>4人</td> <td>6人</td> <td>6人</td> <td>8人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>府中市</td> <td>4人</td> <td>3人</td> <td>3人</td> <td>3人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>厚生連</td> <td>3人</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">市府 民中 北 病 院</td> <td>法人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>府中市</td> <td>4人</td> <td>4人</td> <td>3人</td> <td>3人</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table>	職員区分		H 24.4	H 25.4	H 26.4	H 27.4	H 28.4	市府 民中 病 院	法人	4人	6人	6人	8人	7人	府中市	4人	3人	3人	3人	3人	厚生連	3人	—	—	—	—	市府 民中 北 病 院	法人	1人	1人	1人	2人	3人	府中市	4人	4人	3人	3人	2人																							
職員区分		H 24.4	H 25.4	H 26.4	H 27.4	H 28.4																																																										
市府 民中 病 院	法人	4人	6人	6人	8人	7人																																																										
	府中市	4人	3人	3人	3人	3人																																																										
	厚生連	3人	—	—	—	—																																																										
市府 民中 北 病 院	法人	1人	1人	1人	2人	3人																																																										
	府中市	4人	4人	3人	3人	2人																																																										
<p>4 働きやすい職場環境の整</p>	<p>職員が働きがいのある病院に</p>																																																															

備	なるよう、個々人の努力が評価され、報われる人事給与制度の整備に努めます。	<p>【平成 24～27】法人スタート時の人事給与制度に変更なし。</p> <p>【平成 26】市の運営（業者委託）により、H26.10 月に院内託児所「おひさま」（定員 8 人）開所されました。（府中）</p> <p>【平成 27】新病院の 2 階に、院内託児所「おひさま」を移転し、H28.4 月から病児保育が実施される。</p>
---	--------------------------------------	---

（第 3）財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

府中市民病院では、平成 24 年度の法人設立時に、医事業務の経験豊富な人材を医事課長に招聘し、毎年度、医事課職員を積極的に診療報酬関連研修会に参加させるだけでなく、日常的に業務のレベルアップを図り、届出の可能な加算・管理料等の新規申請を行うことで、収益増加に努めています。総務課では、備品・消耗品・修繕の依頼伝票を、各部署の管理者の確認印を必須とし、総務課への依頼ルートを一本化することで、支出のチェック機能を強化しました。また、病床管理については、毎朝、3 病棟の各看護師長、外来看護師長、地域医療連携室職員、医事課長が調整会議を行い、病床の効率的な運用に努め、高い病床利用率を維持しています。

府中北市民病院では、平成 26 年 7 月 1 日、看護師の退職に対応した病棟夜勤体制の維持と空床が多い療養病床の有効活用のため、2 病棟（一般 35 床、療養 35 床）の療養病床を廃止し、1 病棟（一般 60 床）へ病棟再編を行いました。

今後は、両病院とも、より地域に必要とされる病床として、病床の一部を地域包括ケア病棟・病床への転換を図ります。

（第 3）財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置		事業年度評価結果				第 1 期中期目標期間の評価
		H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	
中期目標	中期計画	A	C	C	●	●
1 経営基盤の強化	不採算医療など政策的に必要な医療の経費については、市の財政支援を有効に活用し、経営基盤の安定を図ります。また、利用の低調な施設、設備については、経費の軽減を図るため、新たな活用策	<p>【平成 24】2 病院の合計で 43,489 千円の黒字決算、経常収支比率 101.3%</p> <p>市からの繰入金 490,000 千円（当初：400,000 千円、追加：90,000 千円）</p> <p>【平成 25】2 病院の合計で 106,838 千円の赤字決算、経常収支比率 97.1%</p> <p>市からの繰入金 440,000 千円（当初：380,000 千円、追加：60,000 千円）</p> <p>【平成 26】2 病院の合計で 106,723 千円の赤字決算、経常収支比率 97.6%</p> <p>市からの繰入金 420,000 千円（当初：340,000 千円、追加：80,000 千円）</p>				

<p>2 収益の確保及び費用の節減</p>	<p>を検討します。 経営基盤の強化を図ることで、地方独立行政法人として自立した経営基盤を確立し、中期目標期間の最終年度には、経常収支比率100パーセント以上の達成を目指します。</p> <p>診療報酬制度の改定等に的確に対応するとともに、人材の弾力的な配置を図るなど、収益向上に有効な対策を講じます。また、柔軟な予算執行を行うとともに、日常業務の創意工夫に努めるなど、細やかなコストの節減に努めます。</p>	<p>【平成 27】2 病院の合計で 92,868 千円の赤字決算、経常収支比率 97.4% 市からの繰入金 450,000 千円（当初：300,000 千円、追加：150,000 千円）</p> <p>経営成績（繰入金を除く）</p> <table border="1" data-bbox="943 384 1944 624"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24 年度</th> <th>H25 年度</th> <th>H26 年度</th> <th>H27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>府中市民病院</td> <td>▲154,572 千円</td> <td>▲237,781 千円</td> <td>▲186,038 千円</td> <td>▲257,570 千円</td> </tr> <tr> <td>府中北市民病院</td> <td>▲291,939 千円</td> <td>▲309,000 千円</td> <td>▲340,685 千円</td> <td>▲285,298 千円</td> </tr> <tr> <td>法人全体</td> <td>▲446,511 千円</td> <td>▲546,781 千円</td> <td>▲526,723 千円</td> <td>▲542,568 千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>【平成 24】医事課職員を、積極的に診療報酬関連研修会に参加させ、今年度の加算・管理料等の新規申請件数は、7 件。備品・消耗品・修繕の依頼伝票を、各部署の管理者の確認印を必須とし、総務課への依頼ルートを 1 本化することで、支出のチェック機能を強化した。入院患者の日常生活品について、患者が業者から直接購入するCSセットを導入し、経費の削減を図った。（府中）</p> <p>【平成 25】医事課は、査定を減らす取り組み、外来未収を減らす取り組みを強化。病院内の「元気が出る KAIZEN 発表会」で、この取り組みはベストカイゼン賞を受賞した。総務課は、委託契約の見直しにより、年間約 300 万円のコスト節減を図った。</p> <p>【平成 26】総務課は、前年度比較で材料費対医業収益比率 2.0%減、経費対医業収益比率 1.5%減の経費を削減した。</p>		H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	府中市民病院	▲154,572 千円	▲237,781 千円	▲186,038 千円	▲257,570 千円	府中北市民病院	▲291,939 千円	▲309,000 千円	▲340,685 千円	▲285,298 千円	法人全体	▲446,511 千円	▲546,781 千円	▲526,723 千円	▲542,568 千円
	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度																		
府中市民病院	▲154,572 千円	▲237,781 千円	▲186,038 千円	▲257,570 千円																		
府中北市民病院	▲291,939 千円	▲309,000 千円	▲340,685 千円	▲285,298 千円																		
法人全体	▲446,511 千円	▲546,781 千円	▲526,723 千円	▲542,568 千円																		

（第 4）その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

H27. 12 月、府中市民病院の新病院建築工事が完了し、H28. 2. 1 から新病院での業務を開始しました。旧病棟の解体、外構・駐車場整備工事に着手しており、H28. 10 月末に全ての工事を完了します。

新病院は、病床数は旧病院と同じく 150 床です。1 病床あたりは 74 m²で 100 m²以上という病院も多い昨今ではコンパクトな規模です。地震への対策は耐震構造の中では最も高いレベルとしています。柱と柱の間隔は広くとって、将来の機能拡張に容易に対応できるようにしました。

病院外観は、歴史の街、木工の街である府中のイメージで、木の色の格子柄をアクセントにしています。府中市病院機構のロゴマークは、府中のローマ字頭文字の「f」と府中市の花である桜の花びらを組み合わせて「支える医療」を表現しています。

病院機能については、新たな地域医療の推進役に相応しい適切なものとなるよう、地域包括ケア体制に向けての医療と介護の総合窓口と、食の情報発信のためのレストランを1階に設け、設備面では、電子カルテ、1.5テスラのMRI、64列CTを新たに導入しました。また、施設面では、各病棟のシンボルカラー（ブルー、オレンジ、グリーン）を設定し、病棟の廊下も明るく軽快な色調にすることで、病院的な冷たさを消して親しみやすい暖かさを表現しました。

新病院への医療機器等の投資については、既存の機器等の耐用年数等を考慮し、継続使用・更新・新規導入を検討しました。投資経費を積算した上で、将来的な財政推計を行い、法人経営の支障とならないよう留意しました。また、地域における医療資源と重複投資にならないよう努めました。

(第4) その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置		事業年度評価結果				第1期中期目標期間の評価
		H24	H25	H26	H27	
中期目標	中期計画	A	A	A	●	●
1 病院の建て替えへの対応	<p>府中市民病院については、建て替えを行います。病院機能については、新たな地域医療の推進役に相応しい適切なものとなるよう、関係者との協議や意見集約を行います。</p> <p>病院事業における投資については、地域における医療資源を的確に把握したうえで、重複投資を避けるなど、その投資効果を十分検討し、将来の法人経営の支障とならないよう留意します。</p>	<p>【平成24】市が発注した新病院の設計業務に、市と病院が共同して着手し、今年度は基本設計に取り組みました。(府中)</p> <p>【平成25】基本設計を完了し、H26年度から工事に着手。新病院の機能として、地域包括ケアの推進について市と協議、包括支援センター(サブセンター)を設計に盛り込んだ。(府中)</p> <p>【平成26】新病棟の建築工事が開始、H27年末の完成に向けて着々と工事進行。電子カルテ導入のための業者を決定した。(府中)</p> <p>【平成27】新病院は、平成27年12月末に完成し、平成28年2月1日から業務を開始しました。電子カルテを導入しICT地域連携機能を備えた病院になりました。新病院の機能として、地域包括ケア体制に向けて医療と介護の総合窓口と、食の情報発信のためのレストランを1階に設けました。(府中)</p> <p>新病院への医療機器等の投資については、既存の機器等の耐用年数等を考慮し、継続使用・更新・新規導入を検討しました。投資経費を積算した上で、将来的な財政推計を行い、法人経営の支障とならないよう留意しました。また、地域における医療資源と重複投資にならないよう努めました。</p>				

<p>2 医療機器などの更新</p>	<p>医療機器の更新や施設の改修については、医療需要、費用対効果及び医療技術の進展などを考慮のうえ、中長期的かつ総合的な判断によって、計画的に実施します。</p>	<p>【平成 24～27】医療機器整備委員会等で優先順位を検討し、法人理事会で購入機器を最終決定した。</p> <p>【平成 27】新病院への投資は、医療連携を推進するための機能、二次救急輪番制病院としての機能、業務の安全性や効率化を高めることを重視して行いました。（府中）データ提出加算に対応できる機能を備えた医療事務システムの更新と、上下地域での新たな介護サービス事業、24時間定期巡回随時対応型訪問介護看護事業所の開設にむけ、事業に必要なシステムを整備しました。（府中北）</p> <table border="1" data-bbox="940 526 1944 676"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>H24 年度</th> <th>H25 年度</th> <th>H26 年度</th> <th>H27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>府中市民病院</td> <td>101,103 千円</td> <td>20,290 千円</td> <td>45,348 千円</td> <td>912,597 千円</td> </tr> <tr> <td>府中北市民病院</td> <td>31,603 千円</td> <td>58,664 千円</td> <td>18,211 千円</td> <td>27,952 千円</td> </tr> </tbody> </table>	内訳	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	府中市民病院	101,103 千円	20,290 千円	45,348 千円	912,597 千円	府中北市民病院	31,603 千円	58,664 千円	18,211 千円	27,952 千円
内訳	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度													
府中市民病院	101,103 千円	20,290 千円	45,348 千円	912,597 千円													
府中北市民病院	31,603 千円	58,664 千円	18,211 千円	27,952 千円													